

当センターでは、地域づくりのための活動費の一部を助成しています。

シアターねこ
フェスタ事業報告

私たちの活動の根っこ

文化芸術で魅力的な
まちづくり

NPO法人シアターネット
ワークスひめ 理事

鈴木 美恵子



NPO法人シアターネットワークえひめは舞台芸術を軸とする芸術文化の発展と活性化を目指し、2007年に設立しました。

文化芸術には発見や気づきを促し、生きる勇氣や人を繋ぐ力があります。そして少しずつ人々の精神に作用し長い時間かけて、心の豊かさを育みます。人の想像力と創造力の豊かさは人の未来に向けての投資だと考えます。

そのような文化芸術を浸透させる事業として、意識啓発事業（シンポジウム他）、人材育成事業（ワークショップ他）、創造空間整備事業（芸術文化の環境づくり）、鑑賞機会の提供（県外劇団の公演他）を随時開催しています。

シアターねこフェスタ

地域の人たちに文化芸術を身近に触れていただく機会として、毎年開催しています。今年は「まちづくり活動アシスト事業」の助成をいただくことで東京の劇団柿喰う客の「へんてこレストラン」という子どもも大人も楽しめる演劇を招聘



シアターねこフェスタ

しました。宮沢賢治の『注文の多い料理店』を劇化したものです。

赤ちゃんが泣いても子どもが叫んでも、役者さんたちはそんな子どもたちと、鷹揚に会話しながら劇が進んでいきます。小さな子どもがいる若いお父さんやお母さんは、親子で一緒に観劇できる非日常空間をととても喜んでくださいました。

他にも子ども向けにダンスのワークショップ、ヨガ体験、子規と漱石の小作品の朗読会、お笑いライブ、隣の練習室では、障がい者作業所の方たちが作るケーキや、お弁当、から揚げ、野菜などの販売もあり、穏やかに流れる時間を楽しみました。

見た演劇についておしゃべりしたり、

感じたことを共有したりとあちこちで、人の交ざりあう場が作られています。文化芸術は体験した人に何らかの刺激をもたらします。それらが静かにかこのころの栄養になっていくのだと考えます。

これから

ねこフェスタの後も「へんてこレストラン」のリズミカルな動きをやって見せる子どもが遊びに来たり、初めて親子観劇した親子が、家に帰ってから子どもが楽しそうに、舞台の真似をしてみせたりして、会話が弾んだと話されていました。これこそ私たちが望んでいる、芸術文化の力の活用です。これからもその力を生かして、魅力的なまちづくりに貢献していきたいと思っています。



へんてこレストラン